学校評議員会議事録

日 時	平成 29 年 1 2 月 6 日 (水) 10 時 00 分 ~ 11 時 50 分	
会 場	北海道白糠養護学校 会議室	
出席者	学校評議員 4 名	学校側 6 名
出席者名	小 淵 隆 司 上 西 春 美 中 岡 美 緒 山 田 誠	菅 原 康 之 石 渡 雅 道 越 田 淳 林 絵 美 児 玉 崇 志 佐 藤 茂 枝 美
校長が意見を求めた事項	内 容	
地域の教育資源と連携した、 教育活動の充実について	<p>・本校の地域住民の認知度の低さについて、白糠町では町内全ての小中学校から応募される「ふるさと学習の発表会」等を行っているが、そのような場で本校の活動を紹介するなどの方法があるのではないかと。</p> <p>・地域の教育資源をどのように捉えるかが重要である。一般的に言われている教育資源だけではなく、地域の人々の生活にこそ教育資源を見いだせるのではないかと。</p> <p>インターネットの情報が溢れている社会で、そこに居ないとわからない、その場所の学びが重要であると思う。身近にあるものをどのように学びに結びつけられるか一考が必要。インターネット情報等では得られない、手触りやにおいを実感として理解するリアルな学習が必要だと思ふ。</p> <p>また校外活動などで地域の方と触れ合うことで、地域の方も障がい等に対する理解を深められる、双方向の学びに繋がることが期待できる。</p> <p>・地域学習で先生以外の方と接することで、子どもの緊張感も違うし、成長に繋がると思う。 また、地域の同年代の子どもと長期的・定期的に交流を持つことが大切だと思ふ。</p> <p>・教育活動の充実について、各学部でそれぞれの活動を充実させることはもちろん、進級に伴う年度間の繋がり、進学に伴う学部間の繋がりを大切にしてほしい。</p>	
上記のとおり会議を開催した。		
平成 29 年 1 2 月 6 日 北海道白糠養護学校長 菅 原 康 之		

*別の様式により意見聴取の内容を整理している場合には、それを添付し保管すること。
*配付資料などを添付し保管すること。